実用化事例

技術相談

支援先

株式会社マイクロネット

リアルタイムソフトウェア PLC 向け PID コントローラパックの製品化

【開発の背景】

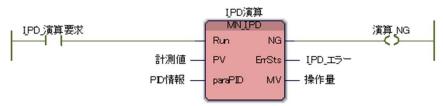
株式会社マイクロネットはリアルタイム OS『INtime』, リアルタイムソフトウェア PLC(Programmable Logic Controller)『INplc』等を中心としたリアルタイムパッケージや PC を プラットホームとした産業用ソリューションを提供している会社です。

今回, リアルタイムソフトウェア PLC 『INplc』上で動作する PID 制御のアドオンパックを開発 したいとの要望があり、当センターで PID 制御に関する技術指導を行いました。

【支援内容】

PID 制御は産業界で幅広く使用されているフィードバック制御の手法です。PID 制御の仕組み は、制御対象から測定された出力(制御量)と追従させたい目標値との偏差信号に対して、比例 演算 (Proportional), 積分演算 (Integral), 微分演算 (Differential) の 3 つの動作を組み合 わせて、制御対象への入力(操作量)を決定するもので、制御構造はシンプルですが、実用性が 高く、実用化されているフィードバック制御方式の中では多くを占めている制御手法です。例え ば、炉の温度制御やモータ速度制御等に応用されています。

今回, 当センターでは PID 制御アドオンパックの開発を行うにあたって必要な技術として, PID 制御の動作原理やパラメータ調整法、制御システムの安定性に関して技術支援を行いました。本 製品において、PID機能がファンクションブロックという形で実現されています(図1)。



PID ファンクションブロック 図 1

【開発した製品の紹介】

PID pack for INplc

- 本製品はINplcで温度・流量・圧力制御を実現するPID制御
- 専用のPIDコントロールモジュールは不要です 最大300ループに対応します
- EtherCATや各種フィールドバス、入出力拡張ボード(PCI/PCIe) に 対応します

市販入出力ポード、各種フィールドバス(EtherCATなど)

株式会社マイクロネットではリアルタイムソフトウェ ア PLC 『INp1c』上で動作する PID 制御アドオンパックを販 売いたしました (図2)。本製品により,専用のPIDコント ローラモジュールを用意することなく、PC 上で温度・流 量・圧力等の PID 制御を実現できます。

今後は、PID 制御に関する応用的な機能について拡充 を予定しており、制御を要する各種システムへの導入が 期待されています。

価格:25,000円(税込み)

問い合わせ先:

主

株式会社マイクロネット TEL: 03-6909-3371

e-mail: cde@mnc.co.jp

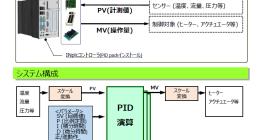


図 2 PID アドオンパックの紹介

基礎となった事業 平成 29 年度 試験研究指導費(技術相談)

最大300ループ対応

現在の担当部門

技術基盤部門

門 長 若生 進一 部

平間

毅

任

TEL: 029-293-8575